

2025年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：財政学特論	
担当教員名：木立 力	
<p>授業科目概要：</p> <p>日本の政府債務の対GDP比率は約2.5倍を超え、第2次世界大戦後の同比率を既に大幅に上回っている。歳出面の主な原因は世界で最も高い高齢化率に影響された社会保障費である。他方、歳入面では、国民所得比で見ると先進国で最も低い所得税比率や先進国で2番目に低い消費税率という現状がある。とりあげるテーマをいくつか例示すると、日銀の量的緩和政策によって日銀は国債をGDPを上回る規模まで保有しているが、その目的、メカニズム、効果。また日銀の国債購入によって財政規律が弛緩している可能性、今後金利が上昇した場合の政策。租税面では年収の壁が女性の働き方に及ぼす影響、等である。</p> <p>受講者が租税に関心がある場合には租税についての解説を多くするので事前に連絡をください。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>財政問題に関心があること。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
書名：なし	書名：
著者／編者：	著者／編者：
出版社：	出版社：
出版年：	出版年：
書名：	書名：
著者／編者：	著者／編者：
出版社：	出版社：
出版年：	出版年：
書名：	書名：
著者／編者：	著者／編者：
出版社：	出版社：
出版年：	出版年：
<p>評価方法及び評価基準：</p> <p>受講者が講義において興味をもった課題について、講義で紹介した分析手法などを用いて分析した結果をレポートにして提出する。レポートの結果で評価する。</p> <p>毎回参加することが評価の前提となる。</p> <p>80点以上をA,70~79点をB,60~69点をC,60点未満をFとする。</p>	

授業目標及び進め方：

日本の財政の制度や現状を知るだけでなく、背景にある経済理論や分析手法の意味を理解することによって、報道される現状について自ら考察する力を高めることを目標とする。講義形式ではあるが、少人数なので発言、意見を求める。

第1回	テーマ：日本の財政の概観① 内 容： 「日本の財政関係資料」財務省、 http://www.mof.go.jp/budget/fiscal_condition/related_data/
第2回	テーマ：日本の財政の概観① 内 容：
第3回	テーマ：社会保障給付費と社会保障関係費 内 容：
第4回 第5回	テーマ：国債を誰がもっているのか 内容；日本銀行の国債保有によってマネーストックはなぜ増えないか
第6回 第7回	テーマ：政策金利はどのように決められているのか 内 容：テーラールールと金融政策 教科書／参考書
第8回 第9回	テーマ：租税の理論 内 容：利益説、能力説、
第10回	テーマ：日本の所得税 内 容：超過累進税、人的控除、控除の逆進性
第11回	テーマ：年収の壁と学生アルバイト 内 容：学生アルバイトが定着している日本の特徴
第12回 第13回	テーマ：年収の壁と既婚女性の就労 内 容：国際比較からみた日本の女性労働の特徴
第14回 第15回	テーマ：賃上げで「手取りを増やす」べきだった 内 容：なぜ日本だけ賃金は上がらなかったのかをマクロ的に考察する